

ひきこもりに関する調査について

「ひきこもり」の定義

様々な要因の結果として社会的参加を回避し、原則的に6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態を指す現象概念

(厚生労働科学研究費補助金による研究事業で作成されたガイドラインによる)

過去の調査の概要

平成21年度調査（平成22年2月実施、若者（15～39歳）を対象）

広義のひきこもり群 出現率 1.79%、推計数 69.6万人

平成27年度調査（平成27年12月実施、若者（15～39歳）を対象）

広義のひきこもり群 出現率 1.57% 推計数 54.1万人

ひきこもりになってからの期間が長期化の傾向：7年以上 16.9%（H21） 34.7%（H27）

広義のひきこもりの推計数

40～64歳の広義のひきこもりの推計数は61.3万人

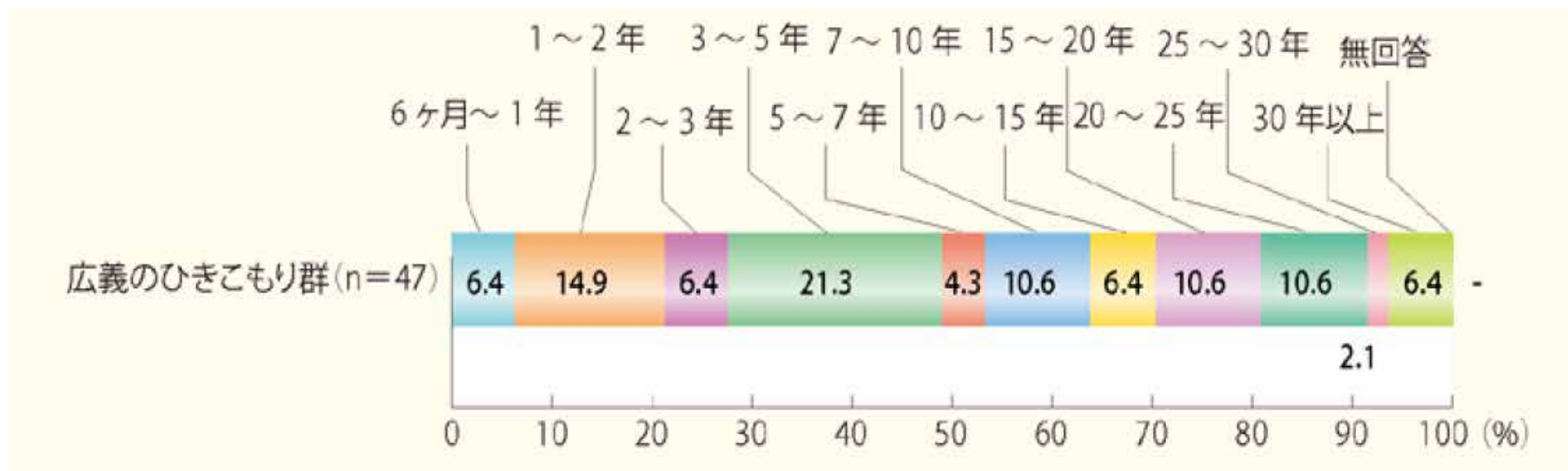
	該当人数 (人)	有効回収数に占める割合 (%)	全国の推計数 (万人)	
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	19	0.58	24.8	準ひきこもり群 24.8万人
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	21	0.65	27.4	
自室からは出るが、家からは出ない 又は自室からほとんど出ない	7	0.22	9.1	狭義のひきこもり群 36.5万人
計	47	1.45	61.3	
				広義のひきこもり群 61.3万人

出典：内閣府 平成30年度「生活状況に関する調査」

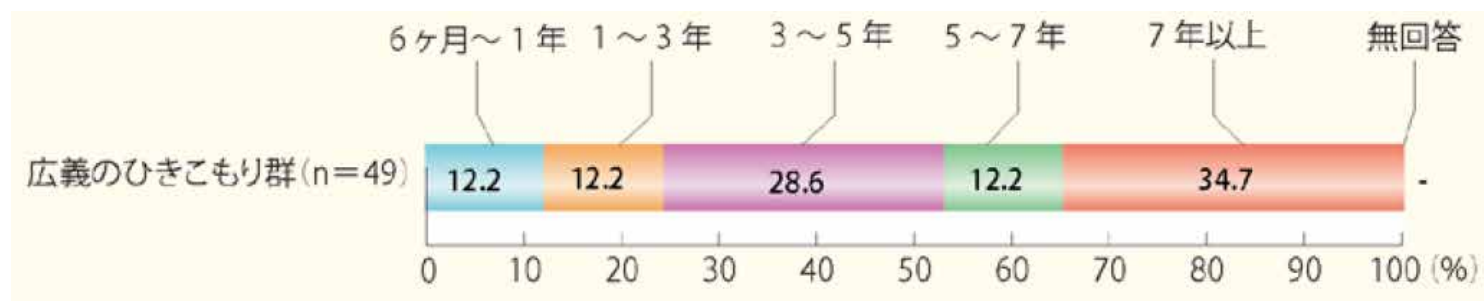
(注) 総務省「人口推計」(平成30年)によると、40～64歳人口は4,235万人であることから、

全国の推計数は、有効回収数に占める割合(%)×4,235万人=全国の推計数(万人)となる。

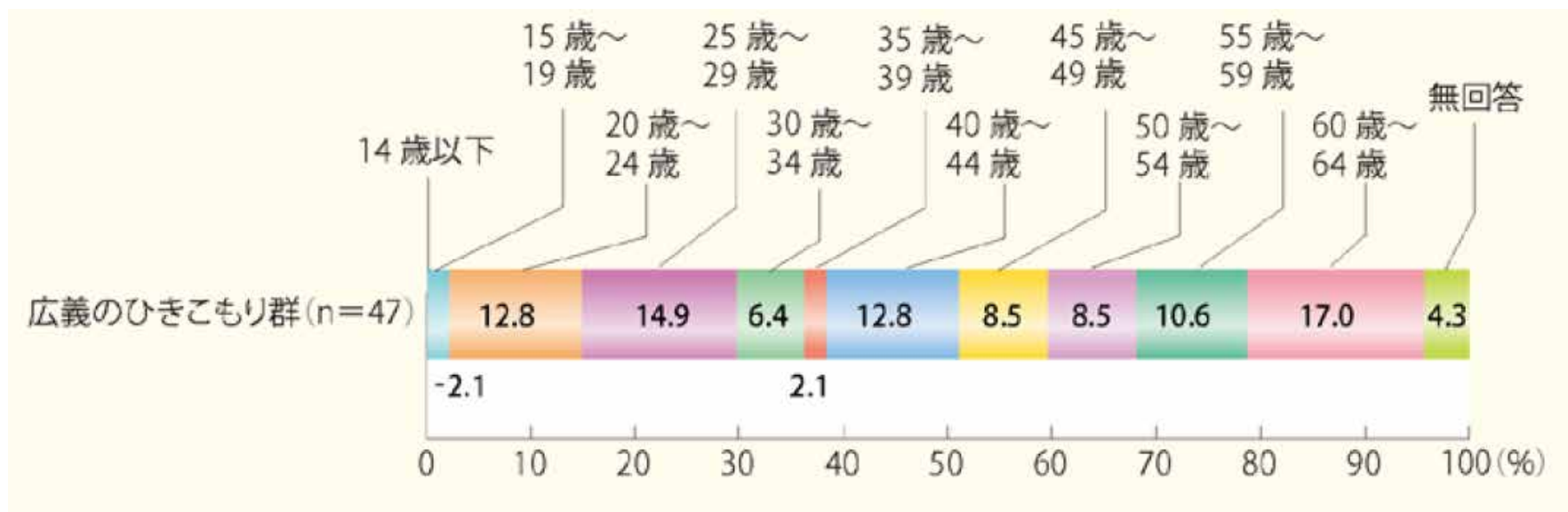
ひきこもりの状態になってからの期間



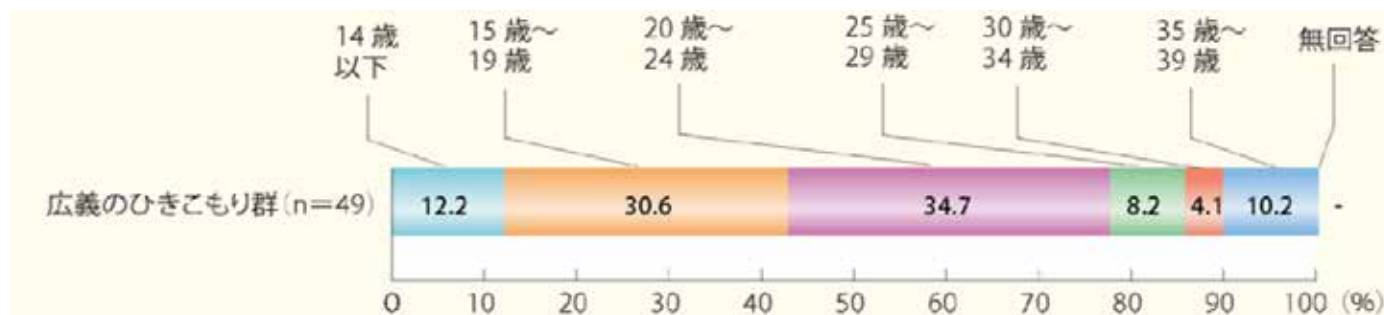
(参考)内閣府「若者の生活に関する調査」(平成27年度)



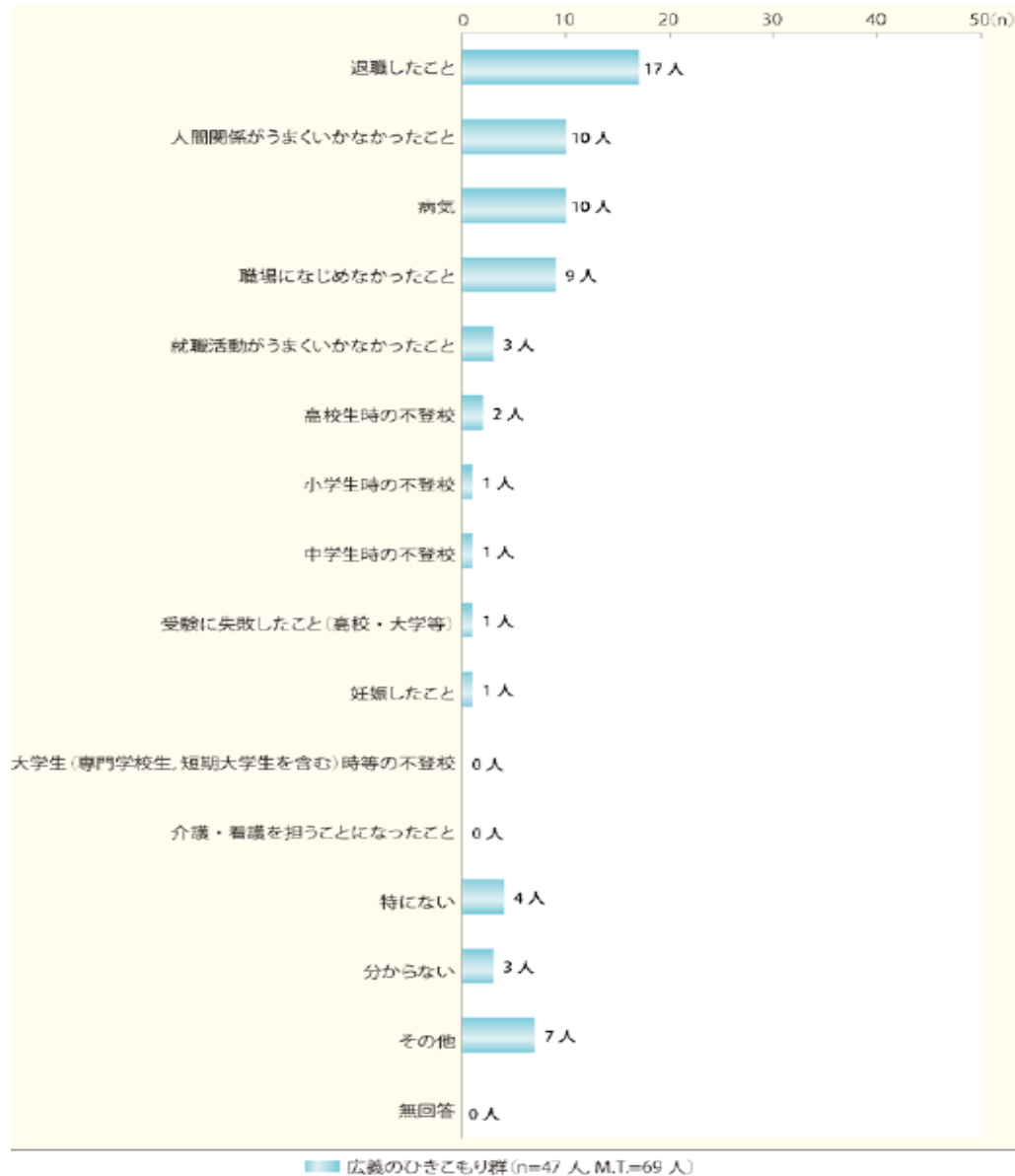
初めてひきこもりの状態になった年齢



(参考)内閣府「若者の生活に関する調査」(平成27年度)



ひきこもりの状態になったきっかけ



(参考)

[平成27年度調査(対象:15~39歳)の結果]

